

札幌市 浸水ハザードマップ



大雨災害から身を守るために ハザードマップで浸水の危険度 や避難方法などを確認しよう!!

想定し得る最大規模の降雨により想定される浸水区域を浸水の深さに応じて色を分けて表示しています。

- 札幌市洪水ハザードマップが**浸水ハザードマップ**として新しくなりました。
- 洪水**の浸水想定区域に加え、**内水氾濫**の浸水想定区域も確認できます。
- 洪水が発生していない場合でも、内水氾濫により浸水するおそれがあるので注意が必要です。

P3~P16
左側ページ

内水氾濫 避難地図

マンホール
雨水ます
下水道

- ▶下水道で雨を排水しきれず発生する浸水の区域とその深さを掲載した地図
- ▶短時間であっても強い雨が降った場合などに発生しやすい

P3~P16
右側ページ

洪水 避難地図

川
堤防

- ▶川が氾濫することで発生する浸水の区域とその深さを掲載した地図
- ▶長時間にわたって大雨が降り続いた場合などに発生する危険性がある

目次

ステップ 1 浸水を知ろう!!		
1	内水氾濫と洪水のちがい	1
ステップ 2 浸水の危険度や避難方法を確認しよう!!		
2	避難地図	2
3	避難について	17
4	大雨時に注意が必要な場所	19
5	大雨への備え	20
6	避難場所一覧	21
ステップ 3 いざという時の行動をメモしよう!!		
7	わが家の防災メモ	22
8	情報入手先、緊急連絡先、お問い合わせ先	23

「わが家の防災メモ」(P22)

いざというときに備え、自宅などの危険度を把握し、**避難の方法**を確認しましょう。
きりとり線がありますので、すぐ見られるよう掲示しておくことができます。

書き込んで 掲示しよう!

浸水ハザードマップ 電子版はこちら



札幌市 令和8年7月改定

1 内水氾濫と洪水のちがい

内水氾濫とは

- 大雨により下水道などで雨を排水しきれず、地上に溢れることで発生する浸水です。
- 短時間であっても強い雨が降った場合や大雨により川の水位が上がった場合などに起こりやすい比較的発生頻度の高い浸水です。



浸水規模	▶局地的で浅い（洪水に比べて） ▶道路が冠水したり、建物の1階が浸水するおそれ
取るべき主な行動	▶建物の2階などの高い場所へ避難 ▶水のうの設置（P20の④を確認）
確認する避難地図	内水氾濫避難地図 (P3～P16の左側ページ)



下水道のマンホールや雨水ますから水が溢れます。



溢れた水が道路にたまります。

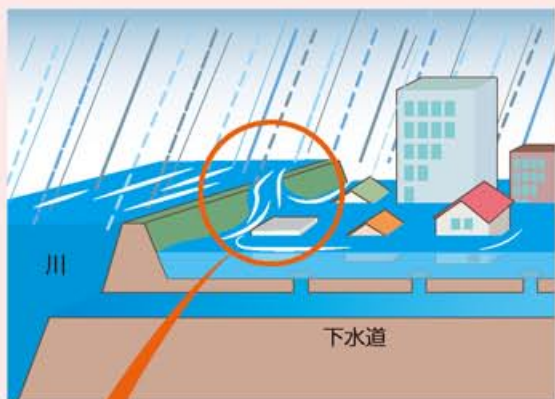


道路にたまる水が増えて宅地に流れ込み建物が浸水します。

大雨が降り続くなどすると

洪水とは

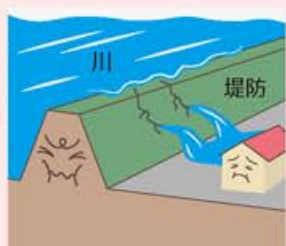
- 大雨により川が増水し、堤防を越えて水が溢れたり、堤防が決壊したりすることで発生する浸水です。
- 長時間にわたって大雨が降り続いた場合などに発生する危険性があり、発生頻度は低いものの、甚大な被害をもたらします。



浸水規模	▶広範囲で深い ▶建物の2階以上まで水没したり、建物が流されてしまう危険性
取るべき主な行動	▶指定緊急避難場所（P21を確認）などへ速やかに避難 ▶避難が遅れた場合は、少しでも浸水しにくい高い場所へ直ちに避難
確認する避難地図	洪水避難地図 (P3～P16の右側ページ)



大雨によって川の水が増え、水かさが増え始めます。



堤防いっぱいまで水が増えると堤防に水の力がかかり始めます。



水が増え、堤防が水の力に耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。



崩れた場所は一気に広がり、勢いよく水が流れ出し、家などに襲いかかります。

2 避難地図 浸水の想定条件

- この避難地図（P3～P16）は、最大規模の浸水に備えるために、**想定し得る最大規模の降雨**により想定される浸水区域を**浸水の深さに応じて色を分けて表示**した地図で、水防法の規定に基づき作成しています。
- 浸水シミュレーションによる想定ですので、着色されていない場合でも、浸水が発生しないということではありません。
- 土地利用や雨の降り方、下水道や川の整備状況などによっては、実際の浸水状況と異なることがあります。

1 内水氾濫と洪水のちがいを

2 避難地図

内水氾濫

▶ **下水道**で雨を排水しきれず発生する浸水


想定降雨

下水道は比較的流域が小さく、**短時間の強い雨**が降った場合に浸水規模が大きくなる特徴を踏まえ、以下の降雨を想定しています。

総雨量 125mm / 1時間

浸水の想定方法

- ▶大雨を排水しきれず地上に溢れると想定される市内の下水道について、その溢れた水がどのように氾濫し広がっていくかを予想しています。
- ▶実際は、大雨が降った地域周辺において下水道から水が溢れ、浸水が発生します。

※下水道で雨を排水していない区域（計画外区域）および市外は浸水想定の対象としておりませんので、内水氾濫避難地図（P3～P16の左側ページ）では灰色（）で着色しています。
 ※土地利用状況は国土地理院国土数値情報（平成21年（2009年）までの調査結果）をもとに設定しています。
 ※下水道の整備状況は令和2年（2020年）3月末時点です。

洪水

▶ **川**が氾濫することで発生する浸水

想定降雨

川は比較的流域が大きく、**長時間にわたる大雨**が降った場合に浸水規模が大きくなる特徴を踏まえ、川の流域の大きさに応じて、以下の降雨を想定しています。

豊平川(下流)：総雨量 406mm / 72時間、石狩川：358mm / 72時間

琴似川・琴似発寒川：総雨量 473mm / 24時間

界川・創成川：総雨量 125mm / 1時間、左股川：124mm / 1時間

※中央区に、浸水が想定される区域がある川のみ掲載



浸水の想定方法

- ▶堤防の決壊が想定される全ての箇所について、どのように氾濫し浸水するかを予想し、それらの結果を重ね合わせ、浸水の区域と深さを表示しています。
- ▶実際は、それらのうち限られた箇所が氾濫し、浸水区域が広がりながら徐々に深くなります。

▶「札幌市地図情報サービス」（P23を確認）では、自宅などがどの川の浸水想定区域にあるか確認できます。



土砂災害にも注意してください

- 大雨が降った場合には、土砂災害が発生する危険性もあります。
- この避難地図（P3～P16）では、**土砂災害警戒区域**（）も掲載していますので、必ずご確認ください。
- 自宅などが「土砂災害警戒区域」にある場合は、**指定緊急避難場所** （P21を確認）などへ避難しましょう。

土石流

山腹や川底の石や土砂が集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象



がけ崩れ

山の斜面や自然の急傾斜の崖、人工的な造成による斜面が突然崩れ落ちる現象



地すべり

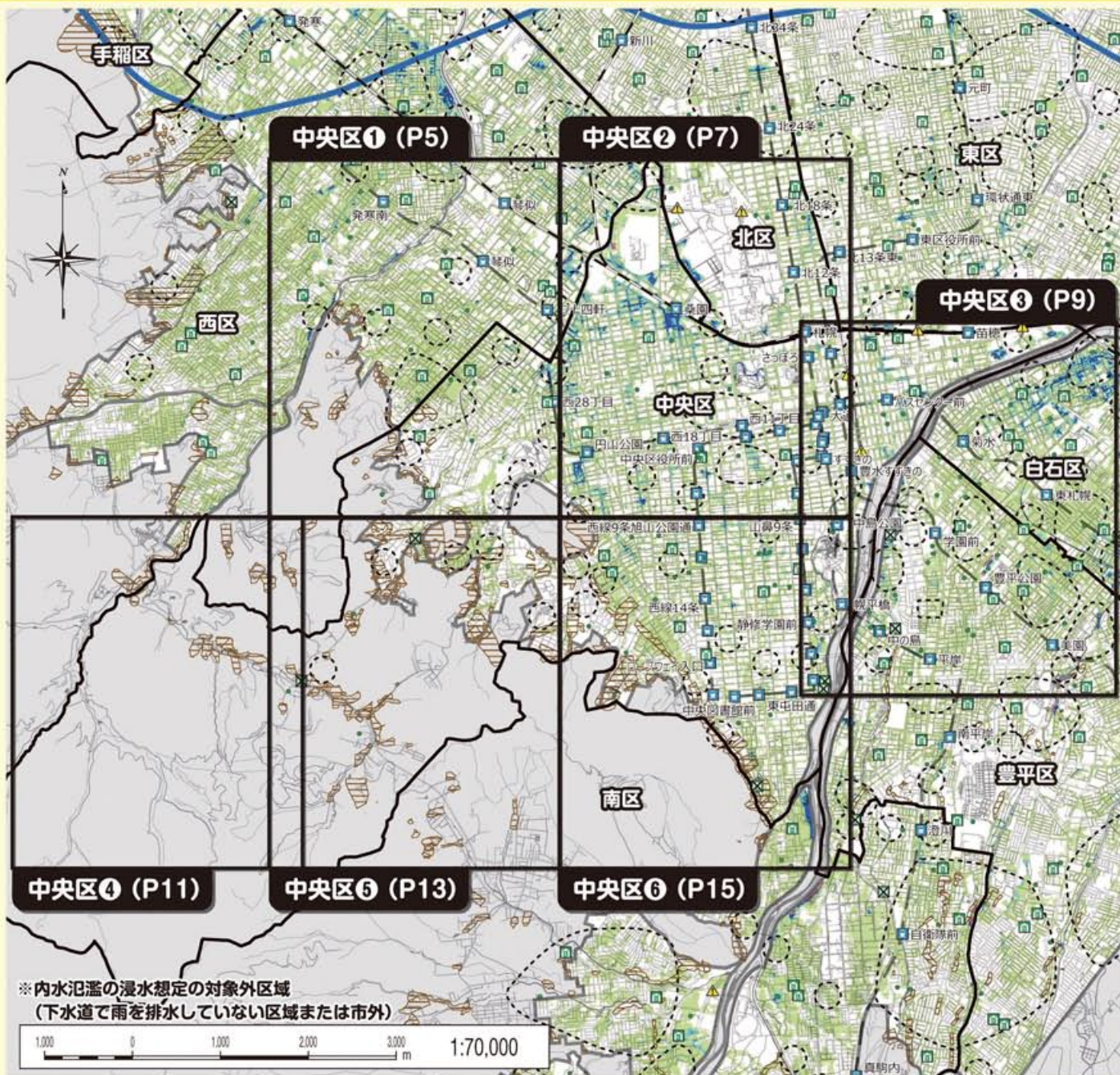
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくり斜面下方に移動する現象



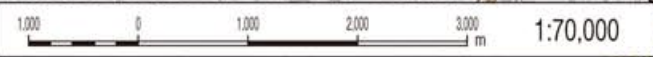
2 避難地図 広域図

内水氾濫避難地図

▶ 下水道で雨を排水しきれず発生する浸水を想定



※内水氾濫の浸水想定の対象外区域
(下水道で雨を排水していない区域または市外)






【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】



1階部分が浸水。床上が浸水。

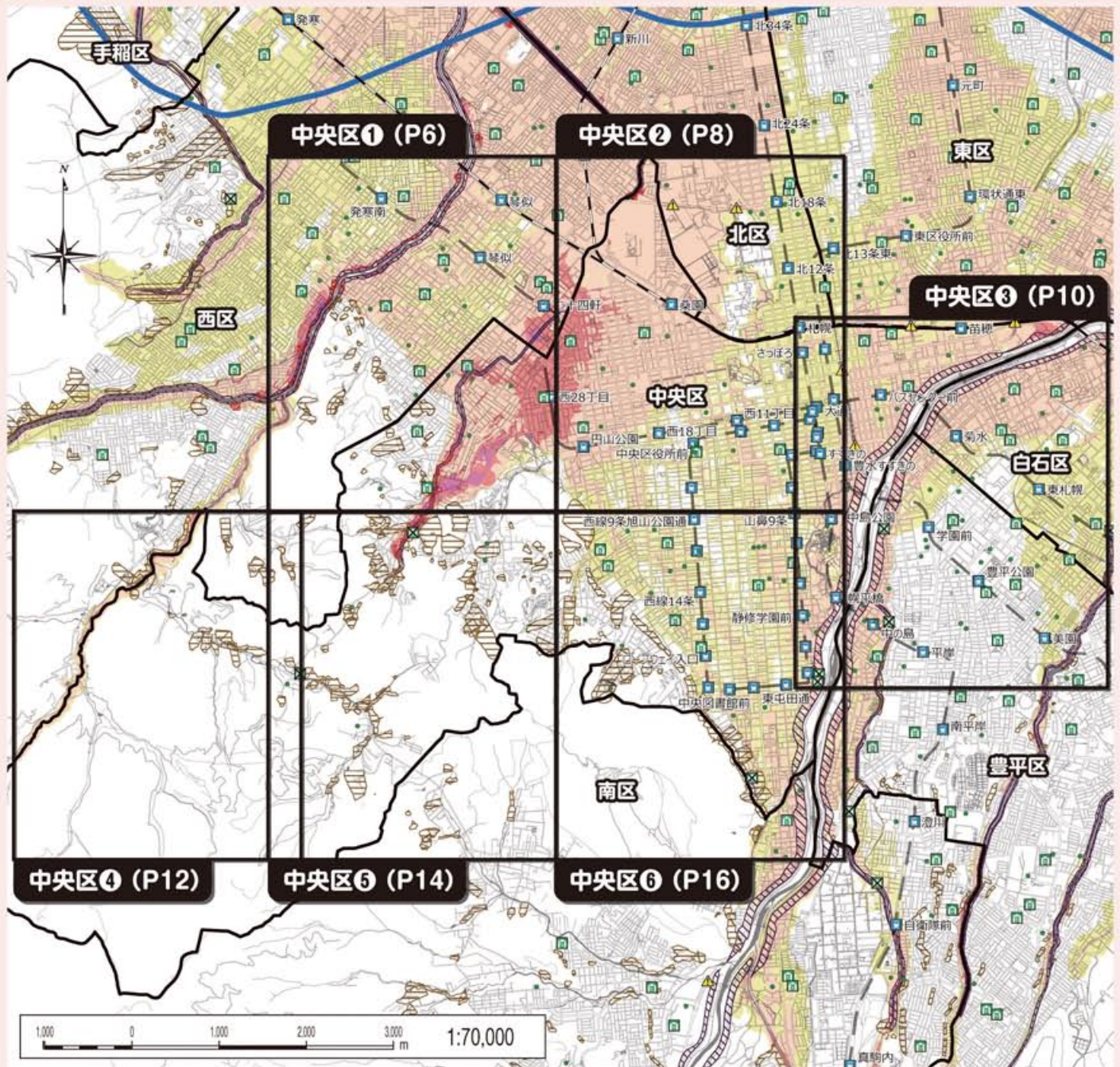
大人のひざまでつかる。床下まで浸水。

-  過去の浸水箇所
この区域内では過去に浸水が発生していますので、着色されていない場所であっても浸水の発生に十分注意してください。
-  内水氾濫の浸水想定の対象外区域
(下水道で雨を排水していない区域または市外)
-  土砂災害警戒区域
令和8年3月1日時点
洪水避難地図(右側ページ)でも確認できます。

凡例		区境		JR		地下鉄・市電
		JR・地下鉄の駅 市電の停留場		アンダーパス (主要なもの)		高速道路

洪水避難地図

▶ 川が氾濫することで発生する浸水を想定



【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】



家屋倒壊等氾濫想定区域

- 流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれのある区域（氾濫流）
- 洪水の際に地面が削られるおそれのある区域（河岸侵食）

土砂災害警戒区域

令和8年3月1日時点
内水氾濫避難地図（左側ページ）でも確認できます。

凡例



指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹）

- ▶ 災害から身を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類ごとに指定しています。
- ▶ 災害の危険性がなくなるまで一定期間滞在などする指定避難所（基幹）を兼ねています。
- ▶ は洪水・土砂災害時に使用できません。



指定避難所（地域）

- ▶ 指定避難所（基幹）を補完する施設であり、状況に応じて開設されます。

2 避難地図 拡大図

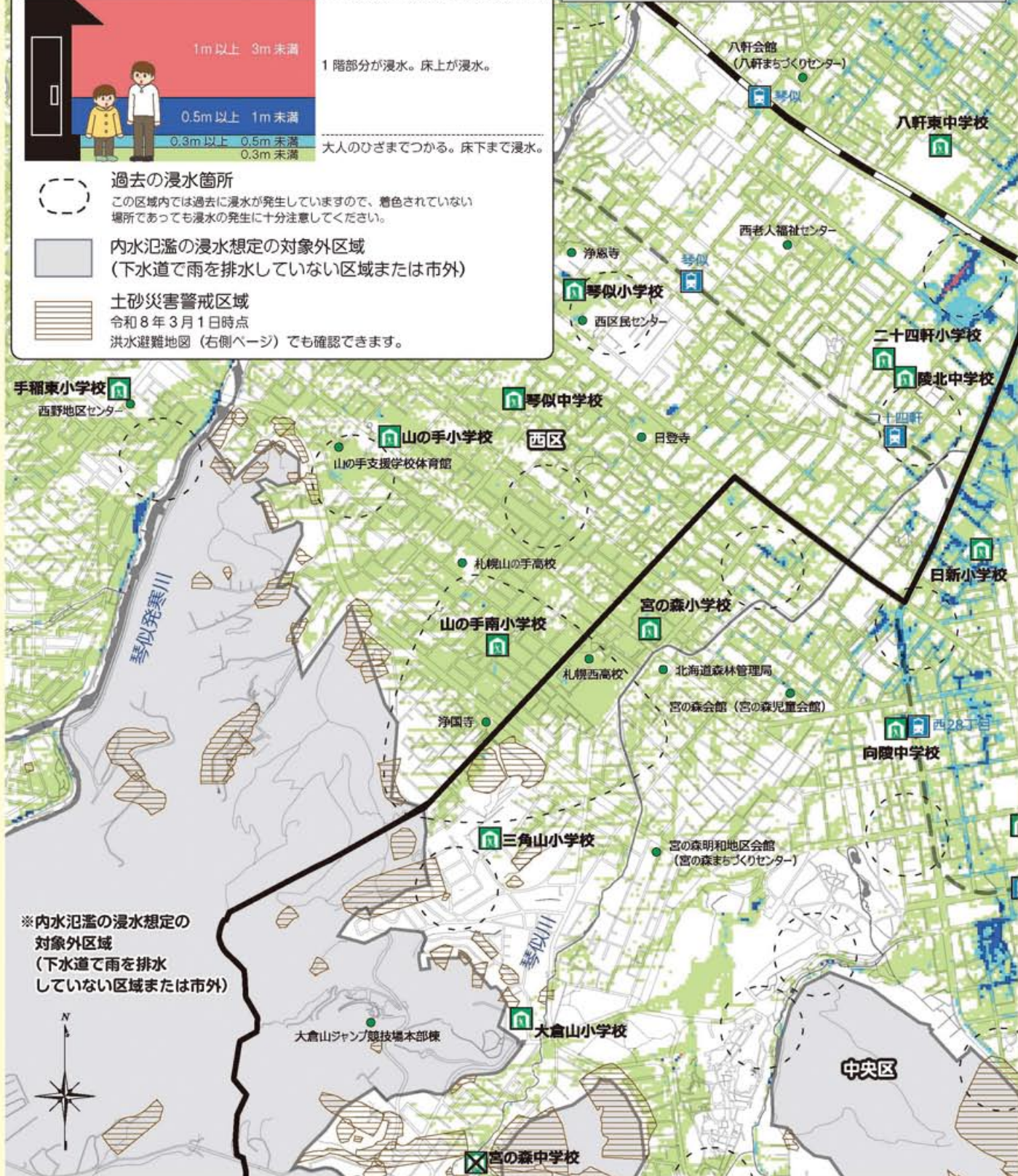
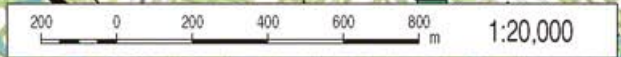
内水氾濫避難地図 中央区①

▶ 下水道で雨を排水しきれず発生する浸水を想定

【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】



- 過去の浸水箇所
この区域内では過去に浸水が発生していますので、着色されていない場所であっても浸水の発生に十分注意してください。
- 内水氾濫の浸水想定の対象外区域
(下水道で雨を排水していない区域または市外)
- 土砂災害警戒区域
令和8年3月1日時点
洪水避難地図(右側ページ)でも確認できます。



※内水氾濫の浸水想定の対象外区域
(下水道で雨を排水していない区域または市外)



凡例	区境	JR	地下鉄・市電	指定緊急避難場所 兼 指定避難所 (基幹) ▶ 災害から身を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類ごとに指定しています。 ▶ 災害の危険性がなくなるまで一定期間滞在などとする指定避難所 (基幹) を兼ねています。 ▶ は洪水・土砂災害時に使用できません。
	JR・地下鉄の駅 市電の停留場	アンダーパス (主要なもの)	高速道路	



洪水避難地図 中央区①

▶ 川が氾濫することで発生する浸水を想定

【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】

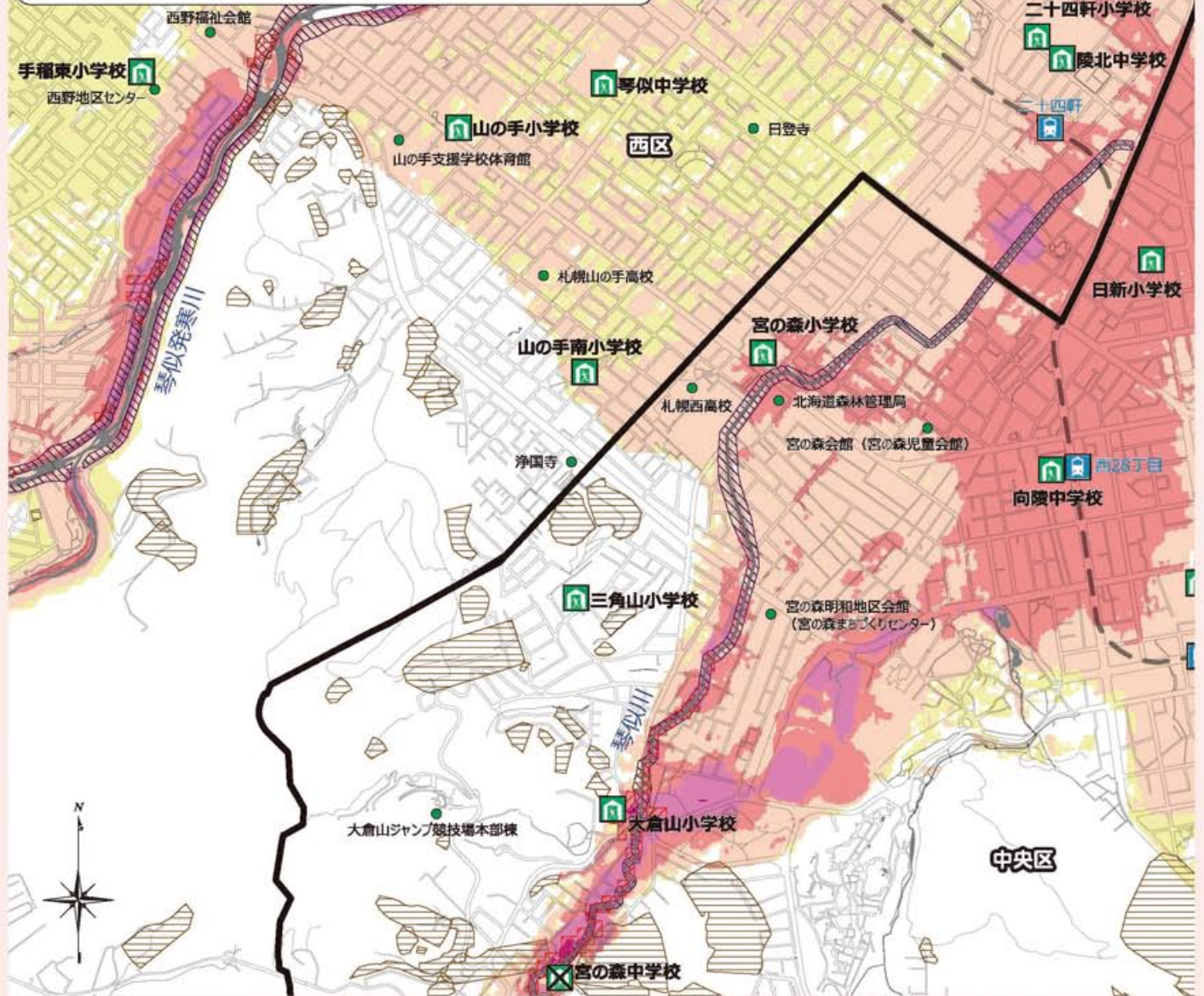
10m以上	3階以上が浸水。場所によっては家が破壊され、流失するおそれ。
5m以上 10m未満	2階まで浸水。場所によっては家が破壊され、流失するおそれ。
3m以上 5m未満	1階部分が浸水。床上が浸水。
0.5m以上 3m未満	大人のひざまでつかる。床下まで浸水。
0.5m未満	

家屋倒壊等氾濫想定区域



-  流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれのある区域（氾濫流）
-  洪水の際に地面が削られるおそれのある区域（河岸侵食）

土砂災害警戒区域

令和8年3月1日時点
内水氾濫避難地図（左側ページ）でも確認できます。



【避難地図の使い方】

- ① 自宅  などの位置を確認し、○をつけましょう。
- ② 最寄りの指定緊急避難場所  を確認し、○をつけましょう。
▶ 避難場所一覧はP21をご確認ください。
- ③ 避難経路をいくつか設定しましょう。
▶ できるだけ川や崖の近くは避難経路にしないようにしましょう。

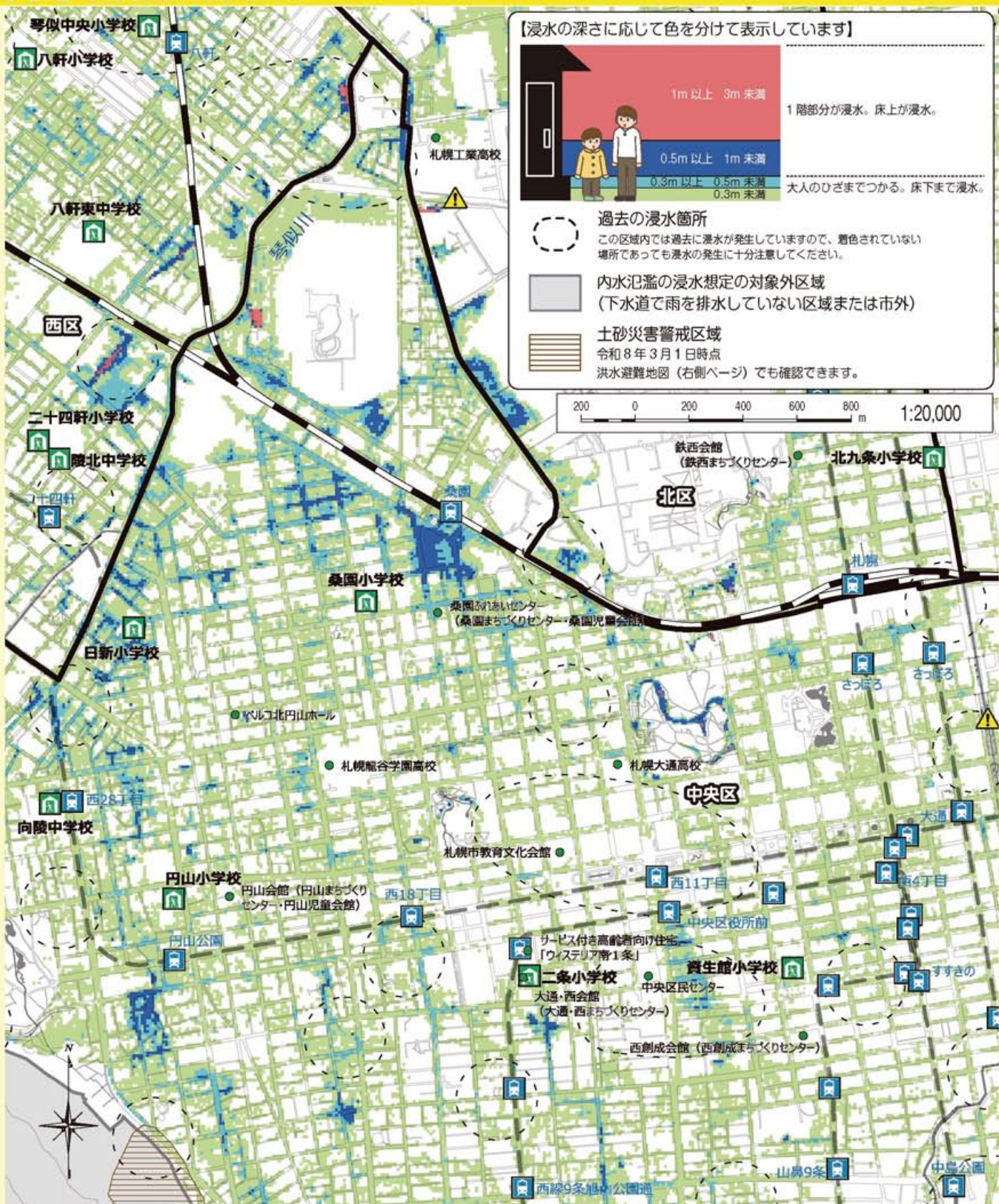
洪水時に早期の立退きが必要な区域

すべての居室より浸水の深さが高い場合と、家屋倒壊等氾濫想定区域は早期の立退き避難が必要です。災害時は、避難情報などに従って当該区域から安全な場所に速やかに、確実に避難してください。

2 避難地図 拡大図

内水氾濫避難地図 中央区②

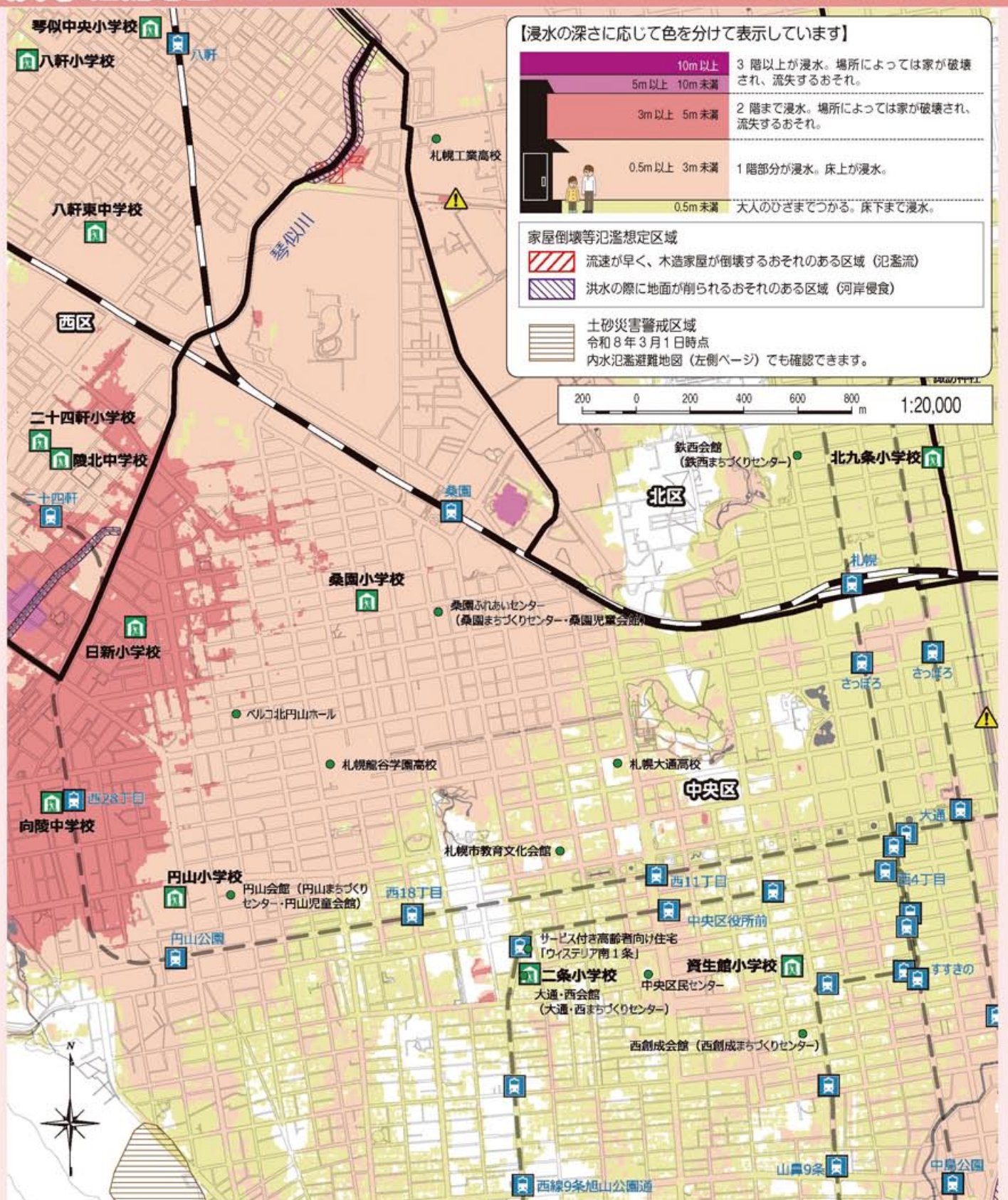
▶ 下水道で雨を排水しきれず発生する浸水を想定



凡例	区境	JR	地下鉄・市電	指定緊急避難場所 兼 指定避難所(基幹) ▶ 災害から身を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類ごとに指定しています。 ▶ 災害の危険性がなくなるまで一定期間滞在などする指定避難所(基幹)を兼ねています。 ▶ は洪水・土砂災害時に使用できません。
	JR・地下鉄の駅 市電の停留場	アンダーパス (注意なもの)	高速道路	

洪水避難地図 中央区②

▶ 川が氾濫することで発生する浸水を想定



2 避難地図

【避難地図の使い方】

- ① 自宅 などの位置を確認し、○をつけましょう。
- ② 最寄りの指定緊急避難場所 を確認し、○をつけましょう。
▶ 避難場所一覧はP21をご確認ください。
- ③ 避難経路をいくつか設定しましょう。
▶ できるだけ川や崖の近くは避難経路にしないようにしましょう。

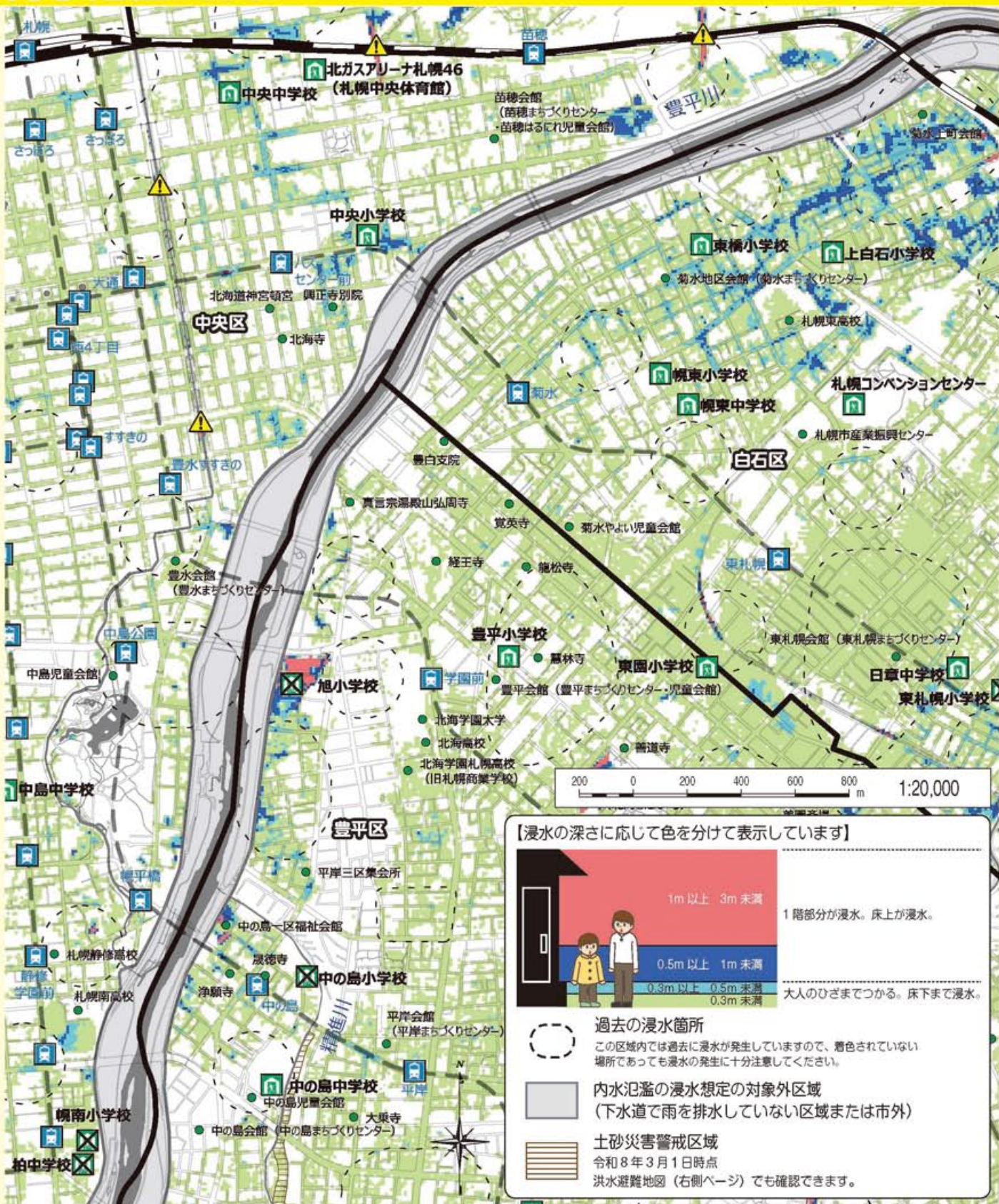
洪水時に早期の立退きが必要な区域

すべての居室より浸水の深さが高い場合と、家屋倒壊等氾濫想定区域は早期の立退き避難が必要です。災害時は、避難情報などに従って当該区域から安全な場所に速やかに、確実に避難してください。

2 避難地図 拡大図

内水氾濫避難地図 中央区③

▶ 下水道で雨を排水しきれず発生する浸水を想定



【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】

1m以上 3m未満	1階部分が浸水。床上が浸水。
0.5m以上 1m未満	
0.3m以上 0.5m未満	大人のひざまでつかる。床下まで浸水。

過去の浸水箇所
この区域内では過去に浸水が発生していますので、着色されていない場所であっても浸水の発生に十分注意してください。

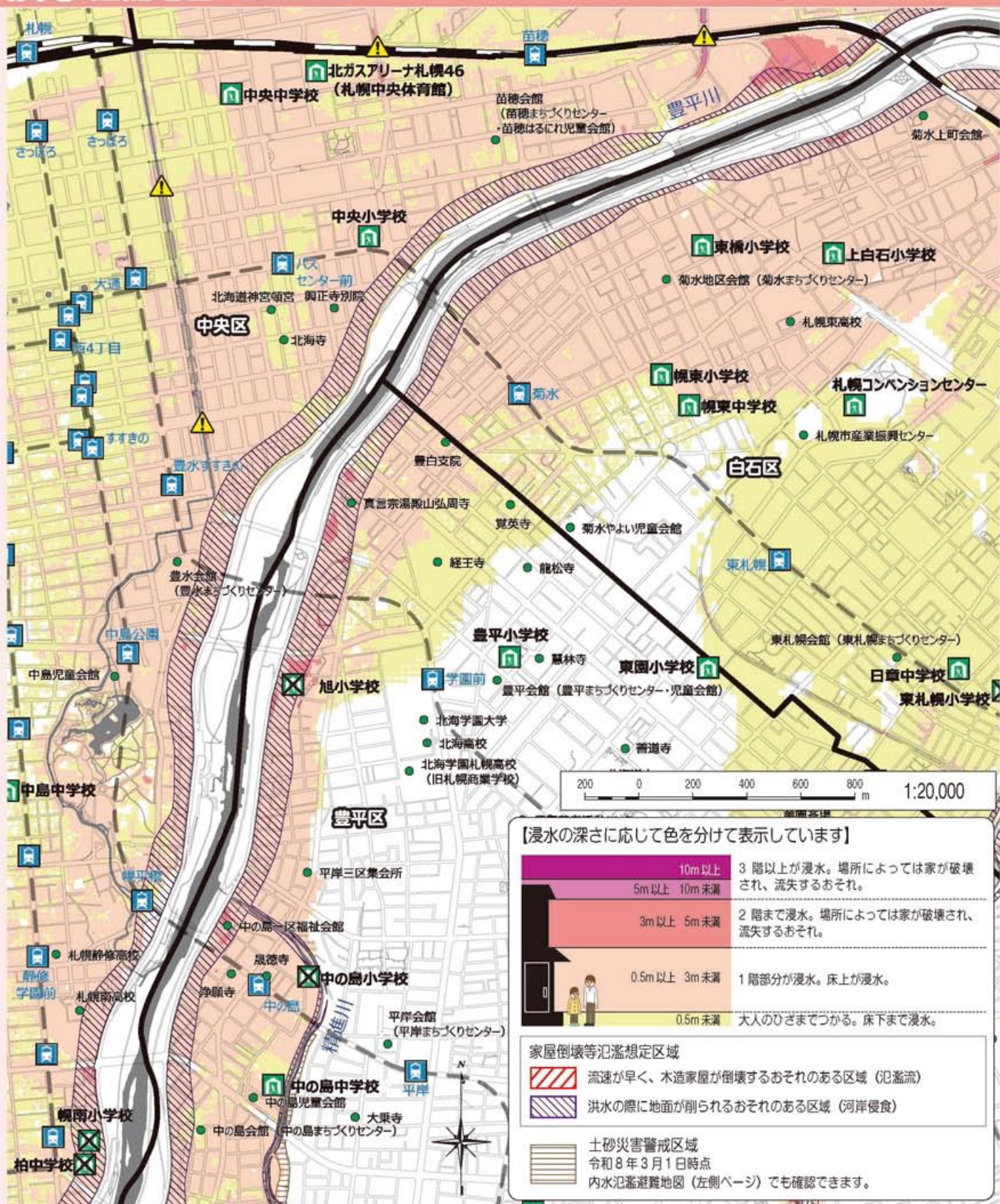
内水氾濫の浸水想定の対象外区域
(下水道で雨を排水していない区域または市外)

土砂災害警戒区域
令和8年3月1日時点
洪水避難地図(右側ページ)でも確認できます。

凡例	区境	JR	地下鉄・市電	指定緊急避難場所 兼 指定避難所 (基幹)
	JR・地下鉄の駅 市電の停留場	アンダーパス (主要なものを)	高速道路	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 災害から身を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類ごとに指定しています。 ▶ 災害の危険性がなくなるまで一定期間滞在などとする指定避難所 (基幹) を兼ねています。 ▶ は洪水・土砂災害時に使用できません。
				指定避難所 (地域)
				▶ 指定避難所 (基幹) を補完する施設であり、状況に応じて開設されます。

洪水避難地図 中央区③

▶ 川が氾濫することで発生する浸水を想定



【避難地図の使い方】

- ① 自宅 などの位置を確認し、○をつけましょう。
- ② 最寄りの指定緊急避難場所 を確認し、○をつけましょう。
▶ 避難場所一覧は P21 をご確認ください。
- ③ 避難経路をいくつか設定しましょう。
▶ できるだけ川や崖の近くは避難経路にしないようにしましょう。

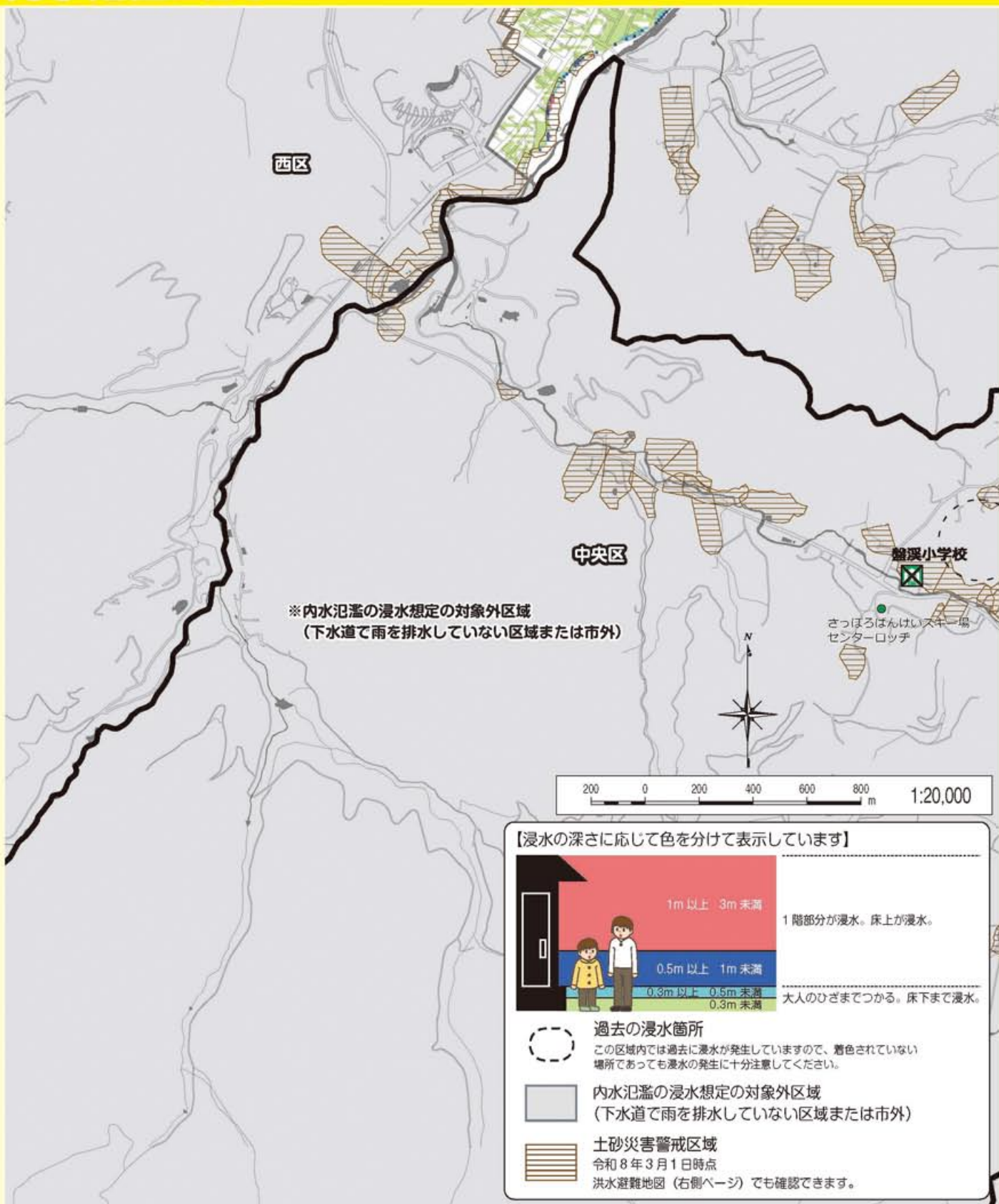
洪水時に早期の立退きが必要な区域

すべての居室より浸水の深さが高い場合と、家屋倒壊等氾濫想定区域は早期の立退き避難が必要です。災害時は、避難情報などに従って当該区域から安全な場所に速やかに、確実に避難してください。

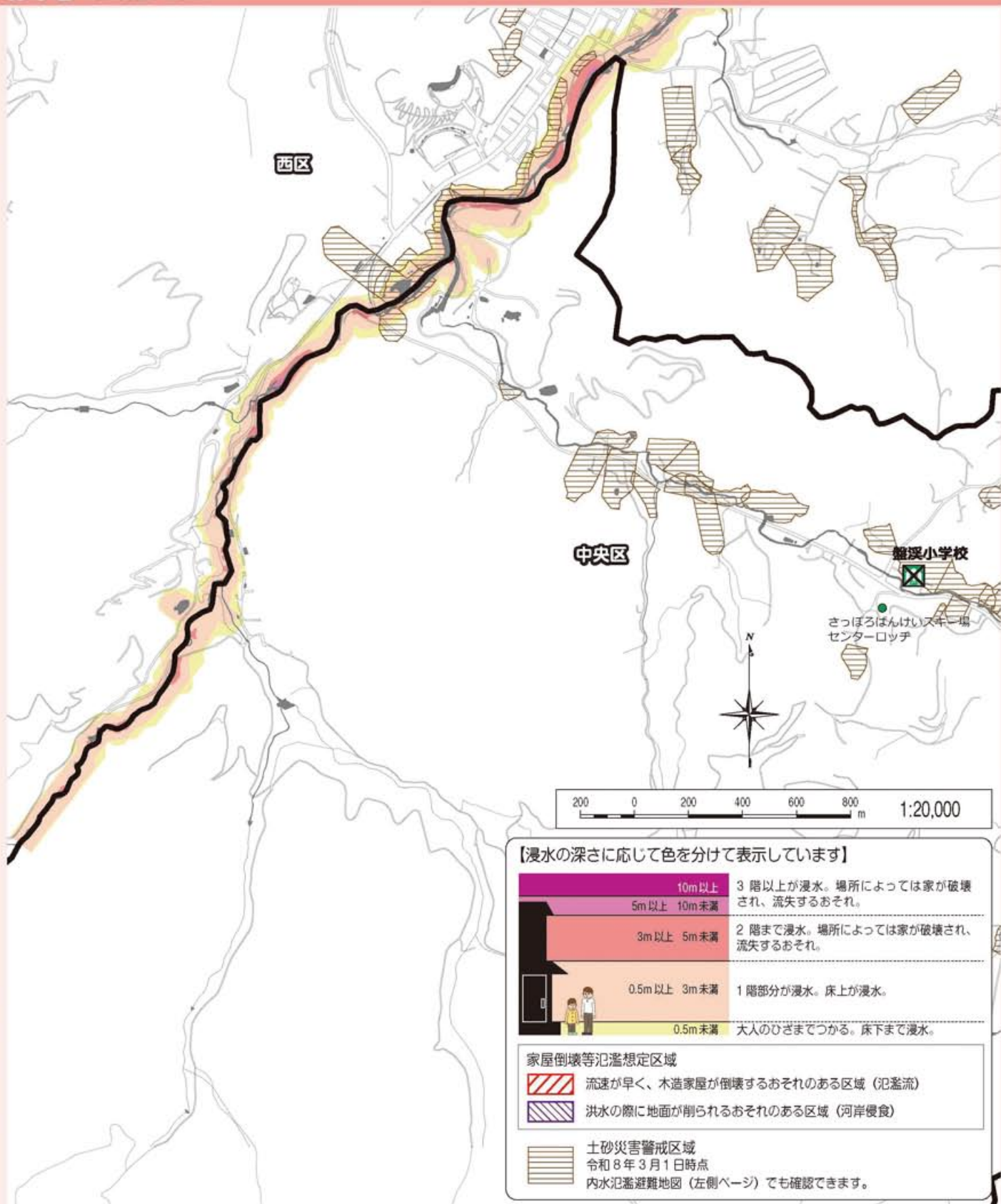
2 避難地図 拡大図

内水氾濫避難地図 中央区④

▶ 下水道で雨を排水しきれず発生する浸水を想定



凡例	区境	JR	地下鉄・市電	指定緊急避難場所 兼 指定避難所(基幹) ▶ 災害から身を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類ごとに指定しています。 ▶ 災害の危険性がなくなるまで一定期間滞在などする指定避難所(基幹)を兼ねています。 ▶ ❌ は洪水・土砂災害時に使用できません。
	JR・地下鉄の駅 市電の停留場	アンダーパス (主要なもの)	高速道路	指定避難所(地域) ▶ 指定避難所(基幹)を補完する施設であり、状況に応じて開設されます。



【避難地図の使い方】

- ① 自宅 などの位置を確認し、○をつけましょう。
- ② 最寄りの指定緊急避難場所 を確認し、○をつけましょう。
▶避難場所一覧はP21をご確認ください。
- ③ 避難経路をいくつか設定しましょう。
▶できるだけ川や崖の近くは避難経路にしないようにしましょう。

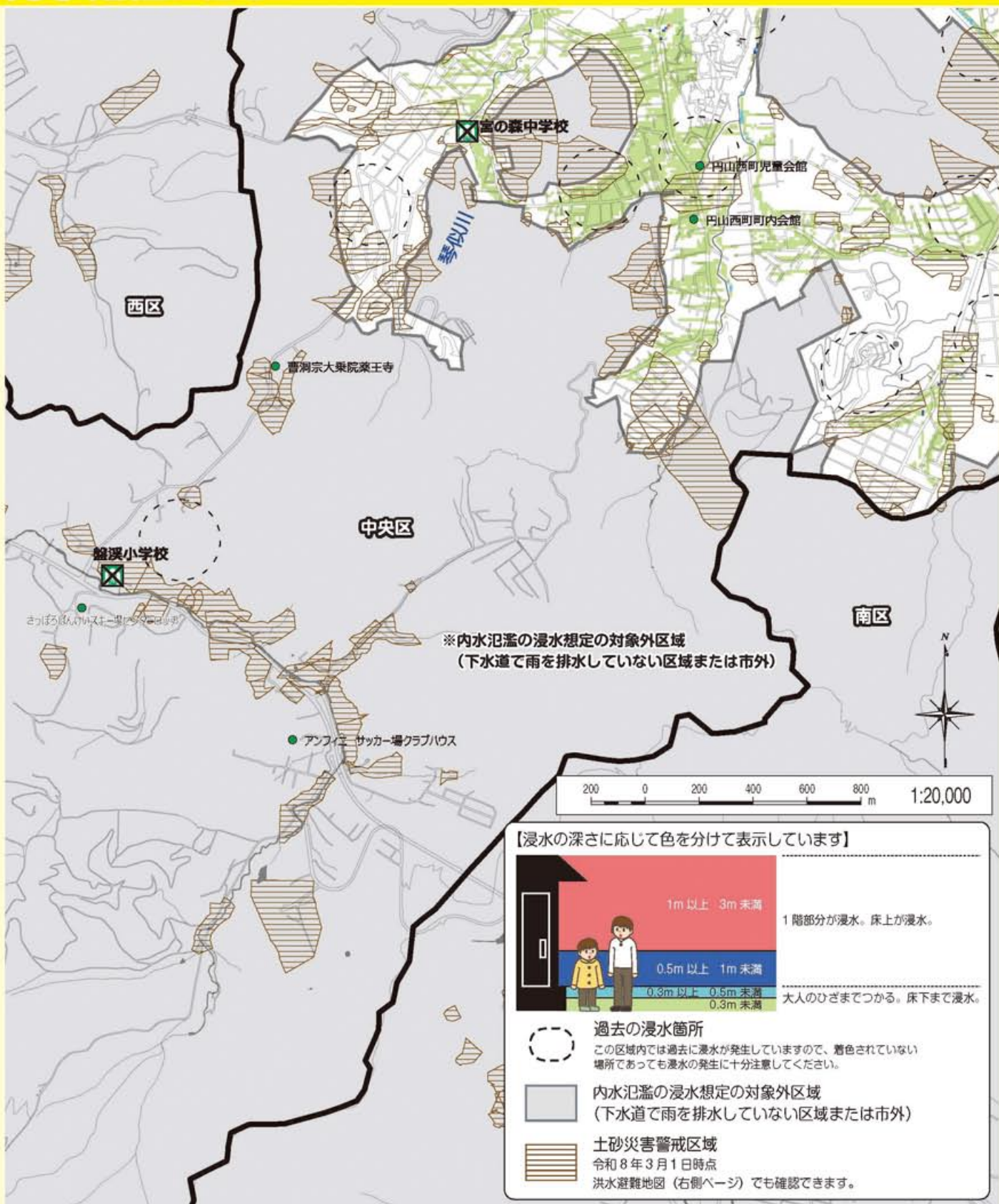
洪水時に早期の立退きが必要な区域

すべての居室より浸水の深さが高い場合と、家屋倒壊等氾濫想定区域は早期の立退き避難が必要です。災害時は、避難情報などに従って当該区域から安全な場所に速やかに、確実に避難してください。

2 避難地図 拡大図

内水氾濫避難地図 中央区⑥

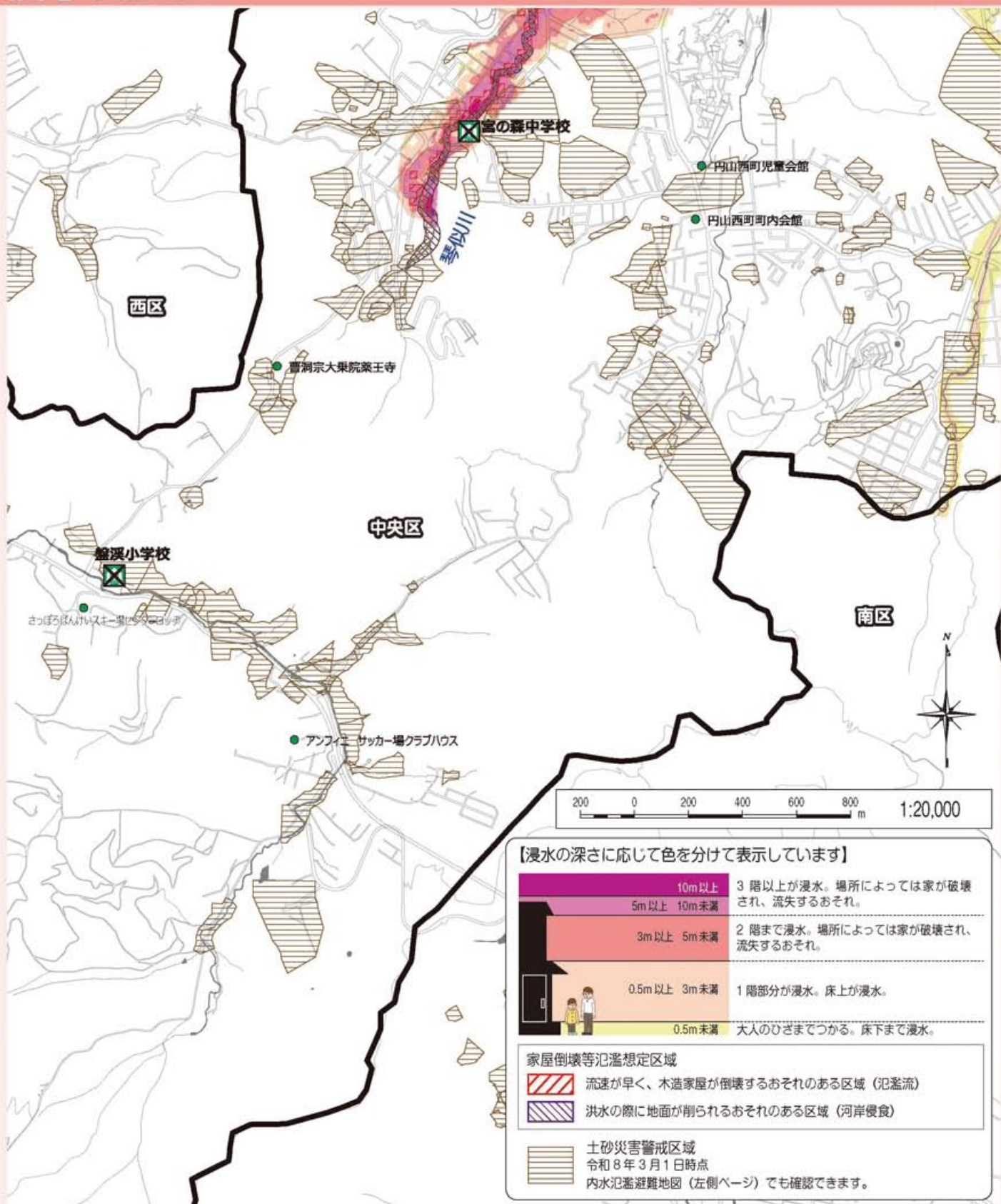
▶ 下水道で雨を排水しきれず発生する浸水を想定



凡例	区境	JR	地下鉄・市電	指定緊急避難場所 兼 指定避難所(基幹) ▶ 災害から身を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類ごとに指定しています。 ▶ 災害の危険性がなくなるまで一定期間滞在などする指定避難所(基幹)を兼ねています。 ▶ 〇は洪水・土砂災害時に使用できません。
	JR・地下鉄の駅 市電の停留場	アンダーパス (主要なもの)	高速道路	指定避難所(地域) ▶ 指定避難所(基幹)を補完する施設であり、状況に応じて開設されます。

洪水避難地図 中央区⑥

▶ 川が氾濫することで発生する浸水を想定



【避難地図の使い方】

- ① 自宅 などの位置を確認し、○をつけましょう。
- ② 最寄りの指定緊急避難場所 を確認し、○をつけましょう。
▶ 避難場所一覧は P21 をご確認ください。
- ③ 避難経路をいくつか設定しましょう。
▶ できるだけ川や崖の近くは避難経路にしないようにしましょう。

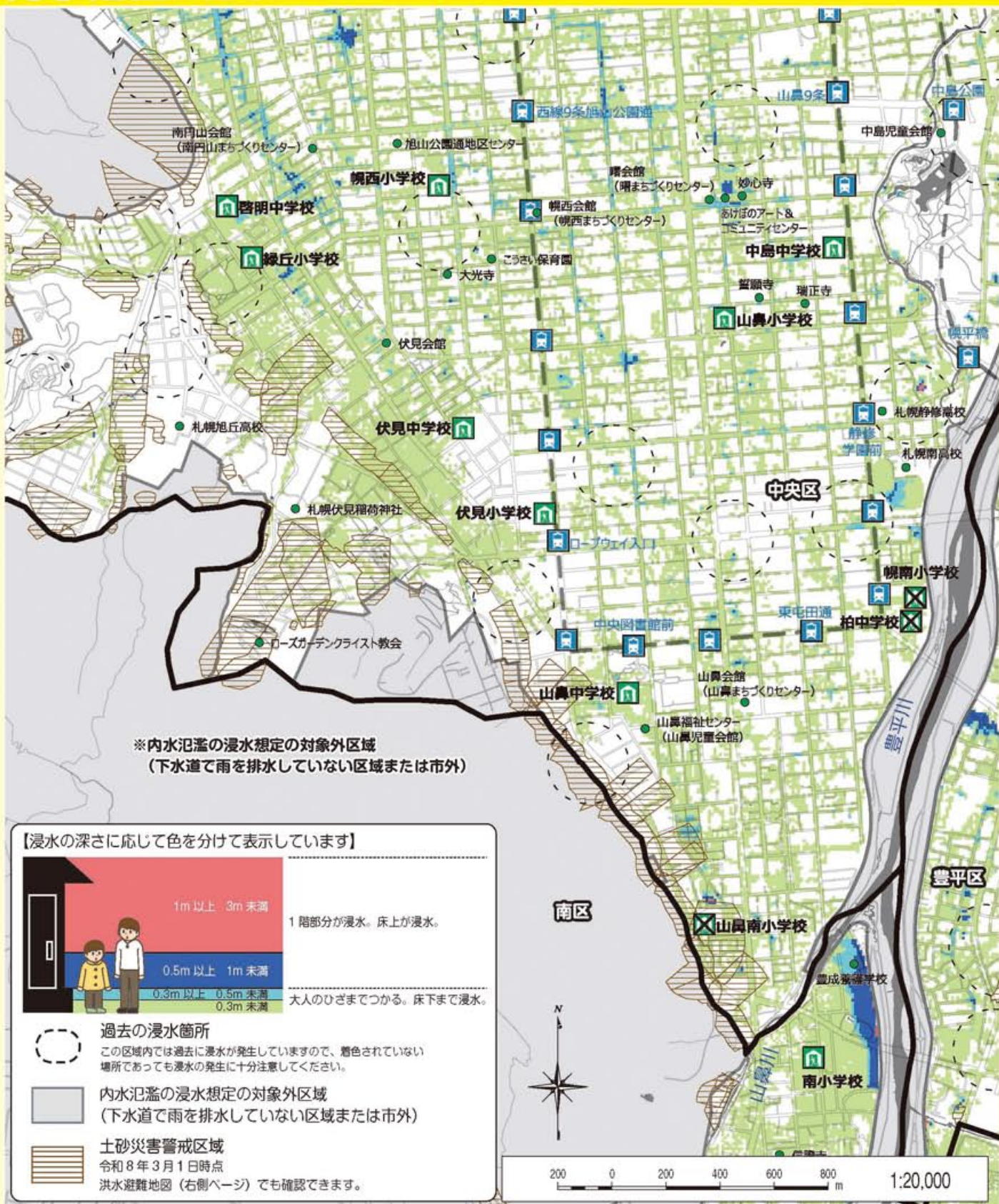
洪水時に早期の立退きが必要な区域

すべての居室より浸水の深さが高い場合と、家屋倒壊等氾濫想定区域は早期の立退き避難が必要です。災害時は、避難情報などに従って当該区域から安全な場所に速やかに、確実に避難してください。

2 避難地図 拡大図

内水氾濫避難地図 中央区⑥

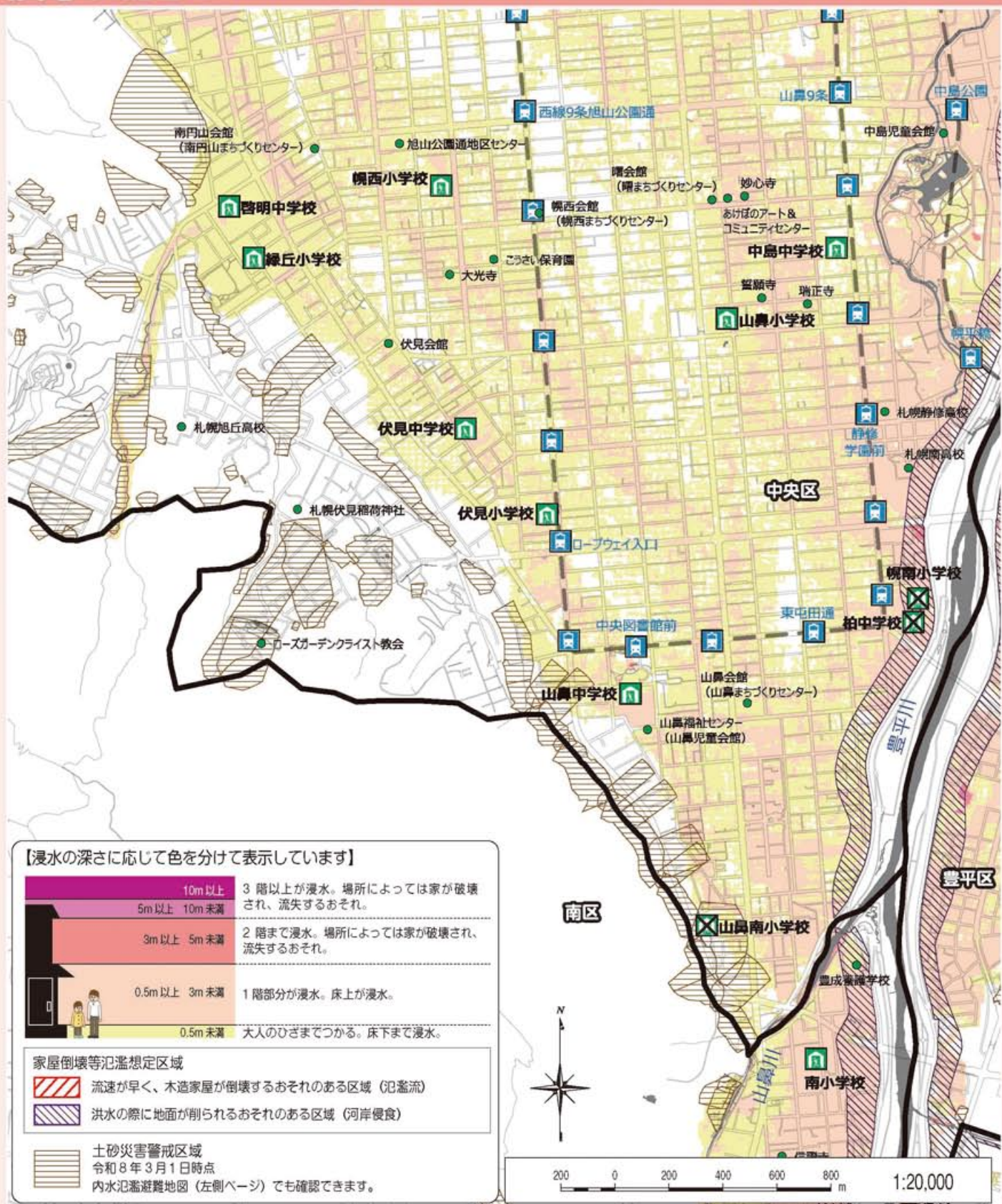
▶ 下水道で雨を排水しきれず発生する浸水を想定



凡例	区境	JR	地下鉄・市電	指定緊急避難場所 兼 指定避難所(基幹) ▶ 災害から身を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類ごとに指定しています。 ▶ 災害の危険性がなくなるまで一定期間滞在などとする指定避難所(基幹)を兼ねています。 ▶ 洪水・土砂災害時に使用できません。
	JR・地下鉄の駅 市電の停留場	アンダーパス (主なもの)	高速道路	指定避難所(地域) ▶ 指定避難所(基幹)を補完する施設であり、状況に応じて開設されます。

洪水避難地図 中央区⑥

▶ 川が氾濫することで発生する浸水を想定



【避難地図の使い方】

- ① 自宅 などの位置を確認し、○をつけましょう。
- ② 最寄りの指定緊急避難場所 を確認し、○をつけましょう。
▶ 避難場所一覧は P21 をご確認ください。
- ③ 避難経路をいくつか設定しましょう。
▶ できるだけ川や崖の近くは避難経路にしないようにしましょう。

洪水時に早期の立退きが必要な区域

すべての居室より浸水の深さが高い場合と、家屋倒壊等氾濫想定区域は早期の立退き避難が必要です。災害時は、避難情報などに従って当該区域から安全な場所に速やかに、確実に避難してください。

3 避難について

避難情報

災害の危険が迫った際は、札幌市から対象の地域に避難を呼びかけます。
避難指示（警戒レベル4）までに必ず避難してください。

警戒レベル	避難情報等	住民が取るべき行動
5	緊急安全確保 命の危険 直ちに安全確保!	<ul style="list-style-type: none"> ●すでに安全な避難ができず命が危険な状況。直ちに身の安全を確保。 ●必ず発令されるわけではないため、発令を待たない。



避難指示（警戒レベル4）までに必ず避難!!

4	避難指示 危険な場所から 全員避難	<ul style="list-style-type: none"> ●指定緊急避難場所 (P21を確認) や親戚・知人宅などの安全な場所に全員避難。
3	高齢者等避難 危険な場所から 高齢者等は避難	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や障がいのある方は、できるだけ早めに避難。 ●その他の方も必要に応じて避難の準備。
2	大雨・洪水注意報 自らの避難行動を確認	



避難の方法を事前に確認

自宅などの危険度を避難地図 (P3 ~ P16) で把握し、**避難の方法**を確認しましょう。安全な場所にいる方は、在宅避難を検討してください。(P22 **わが家の防災メモ**で確認できます。)

▶自宅が安全な場合は在宅避難

次の3つを満たす場合は在宅避難を検討してください。

- 1) 浸水の深さより居室が高い。
- 2) 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流 河岸侵食) に入っていない。
- 3) 土砂災害警戒区域 () に入っていない。

◎ 最低3日分の食料品・飲料水やランタン、乾電池などの備蓄品を用意しましょう。



▶安全な地域の親戚・知人宅へ避難

緊急時に避難してよいか事前に相談しておきましょう。安全な地域に住んでいる方は、受け入れの検討をお願いします。



▶安全が確保できないときは指定緊急避難場所へ避難

危険な地域にいて難を逃れる手段がない方は、ためらわずに指定緊急避難場所 へ避難してください。避難所の開設状況は、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認できます。(P18、P23を確認)



防災気象情報

防災気象情報を参考に、指定緊急避難場所の開設状況をご確認の上、自主的な避難も検討してください。

警戒レベル相当	(洪水に関する情報) 洪水危険度 河川ごとに発表	(大雨浸水に関する情報) 大雨危険度 市町村ごとに発表	(土砂災害に関する情報) 土砂災害危険度 市町村ごとに発表		
5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	氾濫の発生 (氾濫特別警報) ▲ 避難の完了	
避難指示 (警戒レベル4相当) までに必ず避難!!				堤防	
4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報		氾濫危険水位 (氾濫危険警報)
3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報		避難判断水位 (氾濫警報)
2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報		氾濫注意水位 (氾濫注意報)
洪水予報河川	・豊平川(下流)・石狩川				
水位周知河川	・琴似川・琴似発寒川				
その他指定河川	・界川・創成川・左股川				

※洪水予報河川：流域面積の大きい川で洪水により重大な損害を生ずるおそれがある川（洪水予報を発表する川）
 ※水位周知河川：洪水予報河川以外で洪水により重大な損害を生ずるおそれがある川 ※中央区に、浸水が想定される区域がある川のみ掲載

3 避難の目安

情報を知る手段

川の水位や気象、土砂災害、避難などに関する情報は、テレビやラジオ、インターネットで確認できます。

▶テレビ・ラジオ



▶インターネット



- さっぽろ防災ポータル **検索**
- 札幌市防災アプリ そなえ **検索**
- ~~X~~ 札幌市危機管理局 ~~X~~
- 🔍 @sapporo_bousai
- P23 を確認
- 札幌市 ホームページ **検索**

札幌市からの避難情報は緊急速報メールでもお知らせします

緊急速報メールには文字数制限があるため、避難区域の概要のみをお知らせします。
 該当区域の方は、テレビ、ラジオ、市のホームページなどで詳細な住所を確認してください。

▶洪水・土砂災害

「住所」、「町名」、「連合町内会」のいずれかで表示

避難情報発令区域の詳細、避難所開設状況は、札幌市ホームページ、さっぽろ防災ポータル、札幌市防災アプリ そなえ で確認できます。

緊急速報メールの受信設定や対応機種については、各携帯電話会社へご確認ください。



↑洪水時の例 (町名表示)



↑土砂災害時の例 (町名表示)

4 大雨時に注意が必要な場所

① 川の近く

川が増水し危険ですので、近づかないようにしましょう。



② マンホールのふた

マンホールのふたが外れることがありますので、転落に気を付けましょう。



③ アンダーパス

冠水しているアンダーパスは、必ず迂回しましょう。



④ 低地や半地下の建物

水のう*や排水ポンプを用意し、水の浸入を抑えましょう。

*水のうについては、P20の④をご確認ください。



⑤ 地下空間

地上が浸水すると一気に水が流れ込んでくる危険性があります。命の危険があるため早めに避難しましょう。



地下からは外の様子がわかりません。



水圧でドアは開きません。



地上が浸水すると一気に水が流れ込みます。



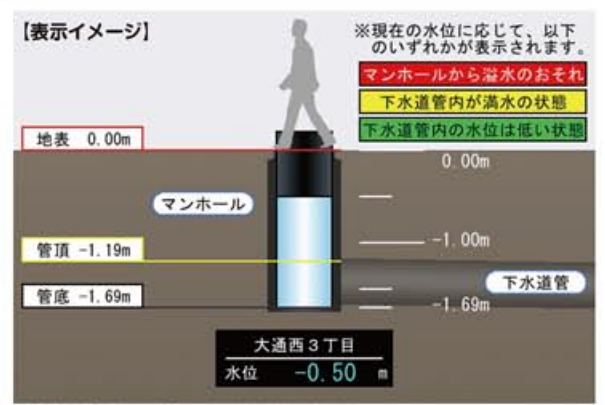
電灯が消えます。エレベーターは使用できません。



地下空間の浸水対策にご活用ください

内水氾濫は、一般的に洪水に比べて浸水の深さは浅いですが、地下空間へ水が流れ込むと被害が発生するおそれがあります。そのため、札幌市では、不特定多数の方が利用する地下街などが多く存在する都心部において、**下水道の水位を観測**しています。

この水位情報はインターネットで確認できますので、**地下空間があるビルなどを管理するみなさま**におかれましては、**利用者の方の避難誘導や出入口への止水板設置**などを行う目安としてご活用ください。



※水位の変動を示すグラフなども確認できます。

札幌市下水道水位情報システム **検索**

<https://sapporo.aquasmartcloud.jp/>



5 大雨への備え

① 避難経路の確認

実際に避難経路を歩いてみて、危険な場所がないか確認しておきましょう。



② 家財の移動

浸水のおそれがある家財を建物の2階などの高い場所に移動しておきましょう。



③ 雨水ますなどの清掃

道路にある雨水ますなどにたまった落葉やゴミの清掃にご協力ください。



④ 水のうの設置

作り方

大きめの袋を二重にして水を入れ、口を締めると水のうが完成。



使い方①

内水氾濫で浸水の深さが浅い場合は、玄関前などに水のうを設置することで、建物への水の浸入を軽減させることができます。

ブルーシートに段ボール箱を並べ、水のうを入れる



使い方②

トイレやお風呂などに水のうを置くことで、下水道が満水となった際に水が逆流するのを抑えることができます。



要配慮者利用施設における避難確保計画について

浸水想定区域や土砂災害警戒区域内に立地し、札幌市水防計画及び札幌市地域防災計画（土砂災害対策編）に定められている要配慮者利用施設の所有者又は管理者には、「避難確保計画」の作成、避難訓練の実施が義務付けられました。対象施設については、札幌市のHPに記載されています。

【要配慮者利用施設における避難確保計画について】

<https://www.city.sapporo.jp/kikikanri/higoro/fuusui/hinankakuho.html>



地下施設の避難確保計画・浸水防止計画について

札幌市水防計画に規定された地下施設の所有者または管理者には、当該地下街等の利用者の洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保及び洪水時の浸水の防止を図るために必要な訓練その他の措置に関する計画（避難確保計画・浸水防止計画）の作成・市長への報告・公表、自衛水防組織の設置が義務付けられております。対象施設については、札幌市のHPに記載されています。

【地下施設の避難確保計画・浸水防止計画について】

<https://www.city.sapporo.jp/kikikanri/higoro/fuusui/sinsuibousi.html>



雨水流出抑制にご協力ください

市民や企業のみなさまにも行っていただきたい浸水対策として、雨水流出抑制の取組があります。

これは、**雨を地中に浸透させたり、一時的にためたり**することで、下水道を溢れにくくする取組です。

雨に強いまちづくりをめざして、雨水流出抑制にご協力ください。

- 市民のみなさま：雨が地中に浸透するように庭や花壇を作る など
- 企業のみなさま：雨水貯留槽や雨水浸透ますの設置 など



4 大雨時に注意が必要な場所

5 大雨への備え

6 避難場所一覧 中央区



指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹）

- ▶災害から身を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類ごとに指定しています。
- ▶災害の危険性がなくなるまで一定期間滞在などする指定避難所（基幹）を兼ねています。

令和7年12月1日時点

施設名・住所	土砂	洪水	施設名・住所	土砂	洪水	施設名・住所	土砂	洪水
桑園小学校 北8条西17丁目	—	③	円山小学校 北1条西25丁目1-8	○	②	盤渓小学校 盤渓226番地	×	—
日新小学校 北8条西25丁目2-1	—	③	向陵中学校 北4条西28丁目1-30	○	③	宮の森中学校 宮の森1条16丁目5-1	×	×
中央中学校 北4条東3丁目	—	②	中島中学校 南12条西7丁目2-1	—	①	大倉山小学校 宮の森3条13丁目6-20	○	③
北ガスアリーナ札幌46（札幌中央体育館） 北4条東6丁目	—	②	山鼻小学校 南14条西10丁目1-1	○	①	宮の森小学校 宮の森4条6丁目1-1	○	②
中央小学校 大通東6丁目12	—	②	伏見中学校 南16条西17丁目1-35	○	②	三角山小学校 宮の森4条11丁目4-1	○	①
二条小学校 南2条西15丁目	—	①	伏見小学校 南18条西15丁目1-1	○	②			
資生館小学校 南3条西7丁目1-1	—	①	幌南小学校 南21条西5丁目1-1	×	×			
啓明中学校 南9条西22丁目2-1	○	②	柏中学校 南21条西5丁目1-2	×	×			
幌西小学校 南10条西17丁目1-1	○	②	山鼻中学校 南23条西13丁目1-1	○	②			
緑丘小学校 南10条西22丁目3-1	○	①	山鼻南小学校 南29条西12丁目1-1	×	×			

凡例	
○	対象災害で開設予定のある避難場所
—	対象災害で開設予定のない避難場所
×	危険なため使用できない避難場所
①	全ての階に避難可能
②	2階以上への避難が必要
③	3階以上への避難が必要

指定避難所（地域）

- ▶指定避難所（基幹）を補完する施設であり、状況に応じて開設されます。

令和7年12月1日時点

施設名・住所	施設名・住所	施設名・住所	施設名・住所
札幌市教育文化会館 北1条西13丁目7	北海寺 南3条東4丁目1	誓願寺 南13条西9丁目3-8	宮の森会館（宮の森児童会館） 宮の森2条5丁目2-21
円山会館（円山まちづくりセンター・円山児童会館） 北1条西23丁目1-18	西創成会館（西創成まちづくりセンター） 南5条西7丁目3	伏見会館 南14条西18丁目6-30	札幌西高等学校 宮の森4条8丁目1-1
苗穂会館（苗穂まちづくりセンター・苗穂はるにれ児童会館） 北1条東10丁目15-9	豊水会館（豊水まちづくりセンター） 南8条西2丁目5	瑞正寺 南14条西8丁目1-38	札幌伏見稲荷神社 伏見2丁目2-17
札幌大通高等学校 北2条西11丁目	旭山公園通地区センター 南9条西18丁目1-32	札幌静修高等学校 南16条西6丁目2-1	こうさい保育園 南12条西16丁目1-5
札幌龍谷学園高等学校 北4条西19丁目1-2	南円山会館（南円山まちづくりセンター） 南9条西21丁目1-1	札幌南高等学校 南18条西6丁目1-1	札幌旭丘高等学校 旭ヶ丘6丁目5-18
奥平ふれあいセンター（奥平まちづくりセンター・奥平児童会館） 北7条西15丁目28	曙会館（曙まちづくりセンター） 南11条西10丁目1-6	山鼻会館（山鼻まちづくりセンター） 南23条西10丁目1-23	ローズガーデンクライスト教会 伏見3丁目22-50
中央区民センター 南3条西11丁目	幌西会館（幌西まちづくりセンター） 南11条西14丁目1-20	山鼻福祉センター（山鼻児童会館） 南24条西13丁目1-1	円山西町児童会館 円山西町8丁目1-50
大通・西会館（大通・西まちづくりセンター） 南2条西15丁目291-98	妙心寺 南11条西9丁目2-10	中島児童会館 中島公園1番1号	曹洞宗大乗院薬王寺 宮の森1263番地3
北海道神宮頓宮 南2条東3丁目	あけぼのアート&コミュニティセンター 南11条西9丁目4-1	円山西町町内会館 円山西町3丁目3-45	アンフィニ サッカー場クラブハウス 盤渓433番地
興正寺別院 南2条東5丁目2	大光寺 南12条西17丁目2-1	宮の森明和地区会館（宮の森まちづくりセンター） 宮の森2条11丁目1-3	サービス付き高齢者向け住宅「ウィステリア南1条」 南1条西14丁目291-81
大倉山ジャンプ競技場本部棟 宮の森1274番地	北海道森林管理局 宮の森3条7丁目70	ヘルコ北円山ホール 北5条西22丁目4-12	さっぽろぼんけいスキー場センターロッジ 盤渓410番地

▶開設状況は「さっぽろ防災ポータル」や「札幌市防災アプリ そなえ」（P23を確認）で確認できます。

7 わが家の防災メモ

- 避難地図 (P3 ~ P16) を見て、自宅などの位置に○をつけ、**内水氾濫・洪水・土砂災害**の危険度を把握し、**避難の方法**を確認しましょう。
- きりとり線がありますので、すぐに見られるよう掲示しておくことができます。

1 内水氾濫避難地図 (P3 ~ P16の左側ページ) で、**内水氾濫の危険度**を把握しましょう。

A | 浸水の深さより居室が高い。 → はい いいえ

▶チェック方法

自宅などは何色で着色されていますか？

※一般的な戸建住宅を想定したチェック方法です。

(1階の床の高さは地面から0.5m、2階の床の高さは地面から3.0mを想定)



1階が浸水する可能性があります。
自宅などが2階建てであれば「はい」に✓
マンションなどの場合は、2階以上にお住まいであれば「はい」に✓

1階が浸水する可能性は低いので「はい」に✓

2 洪水避難地図 (P3 ~ P16の右側ページ) で、**洪水の危険度**を把握しましょう。

B | 浸水の深さより居室が高い。 → はい いいえ

▶チェック方法

自宅などは何色で着色されていますか？

※一般的な戸建住宅を想定したチェック方法です。

(1階の床の高さは地面から0.5m、2階の床の高さは地面から3.0mを想定)



2階以上まで浸水する可能性があるため「いいえ」に✓
マンションなどの場合は3階以上にお住まいであれば「はい」となることがあります。

1階が浸水する可能性があります。
自宅などが2階建てであれば「はい」に✓
マンションなどの場合は、2階以上にお住まいであれば「はい」に✓

1階が浸水する可能性は低いので「はい」に✓

C | 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫域 河岸侵食) に入っていない。 → はい いいえ

3 避難地図 (P3 ~ P16の両側ページ) で、**土砂災害の危険度**を把握しましょう。

D | 土砂災害警戒区域 () に入っていない。 → はい いいえ

4 避難の方法を確認しましょう。

A ~ D がすべて「はい」 → 水が引くまでとどまることができ、備えが十分であれば**在宅避難が可能**です。
◎最低3日分の食料品・飲料水やランタン、乾電池などの備蓄品を用意しましょう。

ひとつでも「いいえ」がある → 自宅などにとどまることは危険です。
避難情報が出た場合や周辺が浸水するなどして身の危険を感じた場合は、**速やかに安全な場所へ避難**しましょう。

指定緊急避難場所 兼 指定避難所 (基幹)

→P21の避難場所一覧で確認

親戚・知人宅など

[施設名]
[住所]

[名前] [TEL]
[住所]

◎すべて「はい」の場合でも、いざというときに備えて指定緊急避難場所などを記入しておきましょう。

8 情報入手先、緊急連絡先、お問い合わせ先

情報入手先

川の水位や気象、土砂災害、避難などに関する情報は、テレビやラジオのほか、インターネットで確認できます。

さっぽろ防災ポータル 検索 

<https://bousai.city.sapporo.jp/>

札幌市の防災、災害時のポータルサイト。川の水位や避難情報の発令区域、避難場所開設状況などを確認できます。



[表示イメージ]

札幌市地図情報サービス 検索 

https://www.city.sapporo.jp/johoo/it/web_gis/web_gis.html

避難地図 (P3 ~ P16) の拡大表示、住所での検索ができます。

札幌市防災アプリ そなえ 検索

<https://www.city.sapporo.jp/kikikanri/apri.html>



避難情報や避難場所の情報などを配信します。



[表示イメージ]



札幌市危機管理局

@sapporo_bousai 

避難情報や避難場所の開設状況などの災害に関する情報をツイートします。



[表示イメージ]

緊急連絡先

緊急連絡先

● 警察署
110



● 消防署
119



テレホンサービスの案内

● 災害(けが)救急病院
011-201-0099

● 北海道救急医療情報案内センター
0120-20-8699

011-221-8699 (携帯電話)




お問い合わせ先

札幌市浸水ハザードマップに関すること

● 札幌市危機管理局
011-211-3062

● 札幌市下水道河川局事業推進部下水道計画課
011-818-3441

札幌市浸水ハザードマップ 検索 

https://www.city.sapporo.jp/kikikanri/higoro/fuusui/ssh_map.html

インターネットでは、行政区ごとのハザードマップのほか、連合町内会ごとのハザードマップの電子版を掲載しています。

下水道の維持管理に関すること (中央区)

● 札幌市下水道河川局事業推進部西部下水管理センター
011-641-8671

道路の維持管理に関すること (中央区)

● 札幌市中央区土木部維持管理課
011-614-5800

避難に関すること

● 札幌市中央区市民部総務企画課
011-231-2400

● 札幌市危機管理局
011-211-3062

河川の維持管理に関すること

● 札幌市下水道河川局事業推進部河川管理課
011-818-3415